



友好都市・浦添市長
儀間 光男

迎

20

新年のごあいさつ

蒲郡市民の皆様、明けましておめでとうございます。

平成18年の輝かしい、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

さて昨年は、蒲郡市制50周年記念事業や愛・地球博パートナーシップ事業、「観光交流立市宣言」に伴う新たなビジョンによるまちづくり事業、さらには、開場50周年を迎えた蒲郡競艇関連事業など、一昨年に続くおめでたい年とともに、各種イベントや主要施策事業への取り組みなど、酉年の大きな羽ばたきのように、例年になく賑わいと多忙な一年を送られたものと察する所であります。

昨年は、本市も市制施行35周年を迎え、一連の記念事業などを実施いたしました。金原市長にはご多忙の中、式典へのご列席を頂きありがとうございました。

ところで、21世紀の国内外の大きな潮流の中で、我が国の経済情勢は、未だ明るい兆しが見えず、地方自治体においては、国の三位一体改革などに伴い、ますます厳しい行財政運営の舵取りをして行かなければなりません。

それでも、市民が望み、喜び、創造し、将来への夢を描けるまちづくりを推進することが、私ども行政をあずかる者の大きな責務であると、改めてその重責を実感しているところであります。

蒲郡市におかれては、金原市長のもと、地域特性をいかした「海とみどりに包まれた安心して暮らせるまち蒲郡」を目指し、市民参加のまちづくりが推進されておりますことに、心から敬意を表します。

迎えました平成18年も、蒲郡市民の皆様のご健康とご活躍と併せまして、両市民にとって実り多い年となるよう、さらに、両市の友好の絆がますます深まることを心から祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

本年も、どうぞよろしく願い申し上げます。

安心のまち・自然と共生す